

目指す姿

学力向上と心身の健全な育成に取り組み、子どもたちが安心して学べるまちを目指します。

目標指標

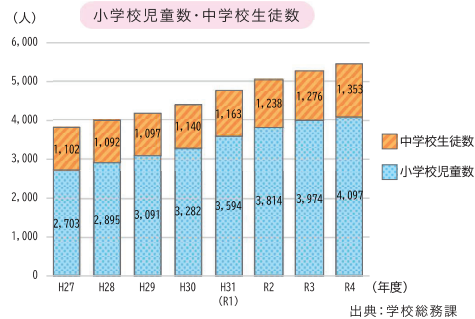
No	指標名	現状値 (2021)	目標値 (2027)
1	市内中学3年生における英検3級相当以上の生徒の割合	65.2%	70.0%
2	不登校児童生徒の学校復帰の割合	15.0%	60.0%
3	ICT支援員の配置人数(年)	4人	14人
4	中学校の適正配置	—	新設1校
5	1ヶ月の超過在校等時間が45時間以内の教職員の割合 (4～7月の超過在校等時間の平均)	63.8%	100.0%

現状と課題

多様化・複雑化する社会環境や時代の変化、グローバル化*やデジタル化の進展などに伴い、多様性を認め合う豊かな心の育成や自ら問題を発見し解決するための論理的な思考である「考える力」などが求められています。また、GIGAスクール*構想に基づき、ICT*を活用した学びの機会や「STEAM教育*」を充実させるなど、児童生徒が興味・関心を持ち、進んで学びたいような工夫が求められています。

本市では、児童生徒数がみらい平地区を中心に増加している一方、既存地区では減少しており、各学校に差が生じているため、地域の実情に応じた、教育施設の適正配置を推進し、より良い教育環境の整備に取り組んでいる状況です。

市内の小中学校の教職員の業務量や負担も増加傾向にあり、部活動指導に係る人材の確保など地域で子どもを育てる雰囲気醸成が必要です。また、不登校の児童生徒が年々増加傾向にあり、十分な時間をかけて丁寧に対応することも必要です。



キーワード

グローバル化*・デジタル化 GIGAスクール* ICT*教育 STEAM教育*
適正配置 教職員の働き方改革



取組方針

チャレンジする子どもの学力向上

基礎的、基本的な知識・技能習得にあわせ、英語教育、理数教育を強化します。また、時代の変化やグローバル社会に対応できる能力を育成するため、ICT*を活用した、個別最適な学びと協働*的な学びを推進します。

豊かな心と健やかな体の育成

不登校の原因となりえる学校生活などでの悩みや不安を解消するため、相談や適応支援指導などきめ細かな対応を推進します。また、学校教育活動全体を通じた、保健体育教育の充実を図るとともに、児童生徒の健全な発達に資するため、栄養バランスのとれた、安全安心で、おいしい給食を提供します。

より良い教育環境の充実

子どもたちがより良い学校教育環境で過ごせるよう、中学校新設など、教育施設の適正配置に取り組むとともに、教職員の働き方改革を推進することによって、効果的な教育活動(教材研究やノート確認などの学習状況を把握するための時間の確保)などや、情報化社会やグローバル化*に対応する教育環境の整備に努めます。また、市民・地域・団体・企業などと協力し、防犯・交通安全対策の充実・強化を図ります。



タブレットと電子黒板を使った授業

わたしたち市民にできること

- 学校行事に参加・協力します。
- 学校給食に関心を持ち、家庭でも食育を進めます。
- 登下校時の児童生徒を見守ります。
- 地域の部活動やスポーツ少年団などの活動に協力します。

